

# YA

## SDGs って、なに？

# DA YO

# RI

みなさんはSDGsについてどれくらい知っていますか？

テレビや本で見かけるこのSDGs、17個もあってよく分からないし、具体的に何をしたらいいのかも分からない、なんて思っている人もいるのではないのでしょうか。

今回は、そもそもSDGsってなに？自分にもできることがある？そういった疑問の答えになるような本を集めました！ぜひ手に取ってみてくださいね。

2024年  
3・4月号

# Vol.25

東図書館YA担当

### YAって？

YA【ワイエー】とは、Young Adult【ヤングアダルト】の略で、12才～19才くらいの人たちをさす言葉。子どもから卒業しつつある“若い大人”という意味です。船橋市にある4つの図書館では、10代のみんなへ向けて“YAコーナー”でいろいろなサービスを展開しています。いつでも遊びに来てね！

## 10代からのSDGs

原佐知子／著

SDGsとはいったい何なのか、そして何をしたらいいのか？この本ではSDGsの考え方や作られたきっかけ、そしてSDGsの活動家達による対談などが書かれています。そして、実際に差別で悩んだ経験のある人の意見なども…。

当事者の具体的な意見を読んで、色々な考えを知ってみませんか？

## ごはん食べにおいでよ

小手鞠るい／作

料理が好きで得意な中学生・雪の日常の物語です。

お料理の本かな、と思いきやそれだけではなく、LGBTや環境問題、食糧自給などなど、まさにSDGs！といった内容が盛り込まれています。

小説でSDGsについて知ることができるので、SDGsを難しいと思っている人に読んでみてほしい一冊です。

# EXHIBITION BOOK

## 子どもも大人もわかって

おきたいいちばん

やさしいLGBTQ

清水展人／著

SDGsの5番目にあたる目標、「ジェンダー平等を実現しよう」についてこんな本はどうでしょう。

自分の性って何だろう？友達からカミングアウトを受けたら？きっと様々な疑問を解決できますよ。

## 15歳からの地球温暖化

杉山大志／著

SDGsの13番目は「気候変動に具体的な対策を」というものです。

この本は①地球温暖化は私達にどんな影響をおよぼすのか、そしてそれに対して②世界や日本はどんな取り組みをしているのか、という2つの章で構成されています。

カラー写真やグラフも載っています。とっても分かりやすいですよ。

## ●SDGsとは？

### 10代からのSDGs

原佐知子／著 大月書店 333.8/ハ

## ●様々なSDGsを知ろう

### 僕らが学校に行く理由

渋谷敦志／写真・文 ポプラ社 372/ツ

### 14歳からのマーケティング

中野明／著 綜合法令出版 675/ナ

### SDGs時代の食べ方

井出留美／著 筑摩書房 611.3/イ

### トルコから世界を見る

内藤正典／著 筑摩書房 302.2/ナ

### わたしの外国語漂流記

河出書房新社／編 阿部賢一他／著 河出書房新社 807/ワ

### 13歳から知っておきたいLGBT+

アシュリー・マーデル／著 須川綾子／訳

ダイヤモンド社 367.9/マ

### 子どもも大人もわかっておきたいいちばんやさしいLGBTQ

清水展人／著 KADOKAWA 367.9/ツ

### 超入門!ニッポンのまちのしくみ

福川裕一／監修 青山邦彦／イラスト

淡交社編集局／編 淡交社 518.8/チ

### 戦争と平和の船、ナッチャン

半田滋／著 講談社 556.7/ハ

### 15歳からの地球温暖化

杉山大志／著 育鵬社 扶桑社(発売) 451.8/ス

### SDGsパートナーシップBOOK

佐藤真久／監修 ETIC／編集協力 宣伝会議 375/イ

## ●小説で知るSDGs

### オレンジット・ダイアリー

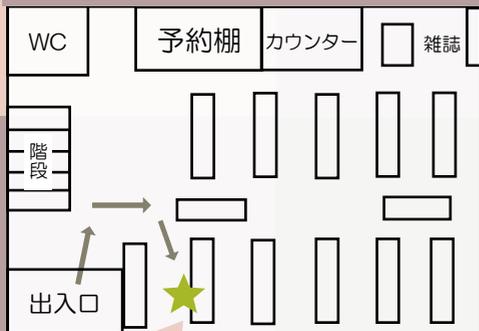
黒川裕子／著 光村図書出版 F/加

### ごはん食べにおいでよ

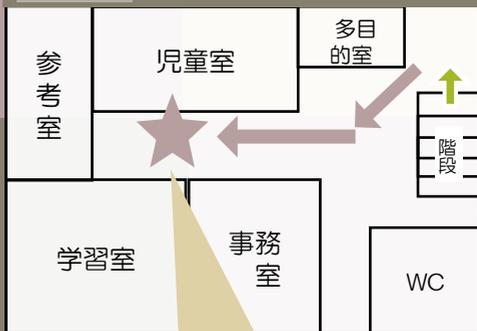
小手鞠るい／作 講談社 F/ワ

# YA Corner in East Library

1F YAコーナー



2F YA展示



東館は  
赤いシール  
が目印



## 司書のつぶやき

春はみなさんにとってどんな季節ですか？出会いと別れの季節？花粉症の季節？わたしにとっては新しい環境が始まる季節です。

進学や進級、就職や引っ越しなど、今まで色々な環境の変化がありました。わたしはそんな新しいことが苦手で、何も変わらなければいいなんて思っていました。ここ最近は考え方が変わってきました。何も変わらないということは安定しているということでもあります。向上もしないということ。そして周りがどんどんステップアップしていくと、わたし自身は退化していることと同じなのでは？という考え方です。

そうして春が苦手なことは変わらないけど、変化があつてこそ得られるものやレベルアップのチャンスもあるとひとつ学んだのでした。もちろん、色々な考え方があっていいと思うんですけどね。

YA担当